

国家公務員の長期病休者の状況

表1 長期病休者の性別・傷病別順位（第1位～第10位）【平成28年度】

	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
総数	5,326 100.0%	精神・行動の障害 3,487 65.5%	新生物 515 9.7%	循環器系の疾患 279 5.2%	筋骨格系・結合組織の疾患 225 4.2%	損傷・中毒・その他外因の影響 222 4.2%	妊娠・分娩・産じょく 118 2.2%	消化器系の疾患 115 2.2%	神経系の疾患 105 2.0%	内分泌・栄養・代謝疾患 53 1.0%	腎尿路生殖器系の疾患 47 0.9%
男	4,035 100.0%	精神・行動の障害 2,700 66.9%	新生物 364 9.0%	循環器系の疾患 248 6.1%	損傷・中毒・その他外因の影響 176 4.4%	筋骨格系・結合組織の疾患 164 4.1%	消化器系の疾患 96 2.4%	神経系の疾患 92 2.3%	内分泌・栄養・代謝疾患 46 1.1%	その他 29 0.7%	呼吸器系の疾患 28 0.7%
女	1,291 100.0%	精神・行動の障害 787 61.0%	新生物 151 11.7%	妊娠・分娩・産じょく 118 9.1%	筋骨格系・結合組織の疾患 61 4.7%	損傷・中毒・その他外因の影響 46 3.6%	循環器系の疾患 31 2.4%	腎尿路生殖器系の疾患 21 1.6%	消化器系の疾患 19 1.5%	神経系の疾患 13 1.0%	呼吸器系の疾患 12 0.9%

注：下段の数字は総数又は男女別総数に占める割合を示す。

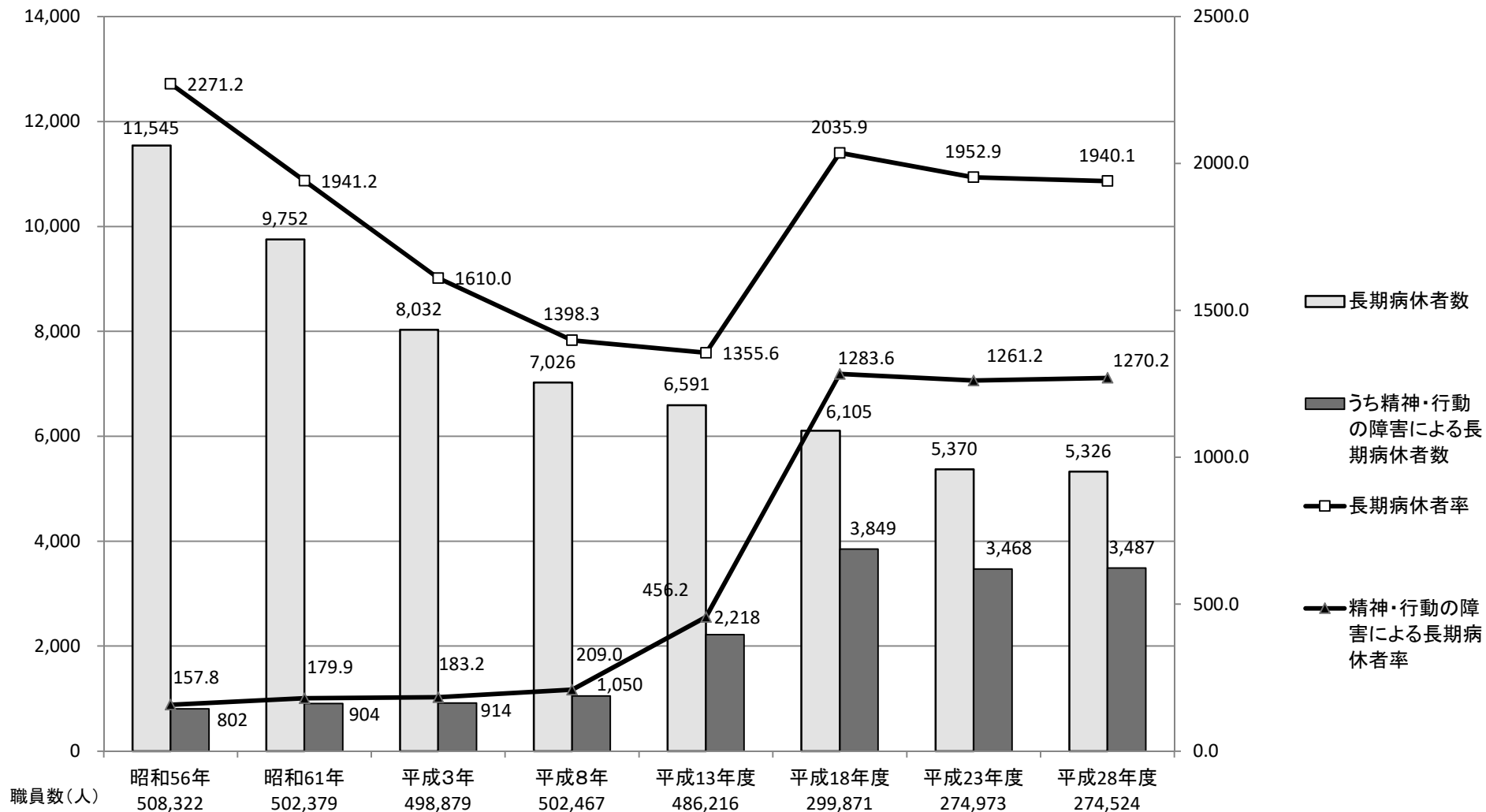
表2 長期病休者数及び長期病休者率の傷病別順位の推移

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年度	平成18年度	平成23年度	平成28年度
総数	11,545 2271.2	9,752 1941.2	8,032 1610.0	7,026 1398.3	6,591 1355.6	6,105 2035.9	5,370 1952.9	5,326 1940.1
第1位	消化器系の疾患 3,195 628.5	消化器系の疾患 2,301 458.0	消化器系の疾患 1,568 314.3	新生物 1,181 235.0	精神・行動の障害 2,218 456.2	精神・行動の障害 3,849 1283.6	精神・行動の障害 3,468 1261.2	精神・行動の障害 3,487 1270.2
第2位	損傷・中毒・その他 外因の影響 1,406 276.6	損傷・中毒・その他 外因の影響 1,195 237.9	損傷・中毒・その他 外因の影響 1,029 206.3	精神・行動の障害 1,050 209.0	新生物 1,045 214.9	新生物 604 201.4	新生物 495 180.0	新生物 515 187.6
第3位	循環器系の疾患 1,389 273.3	循環器系の疾患 1,060 211.0	新生物 932 186.8	消化器系の疾患 915 182.1	損傷・中毒・その他 外因の影響 644 132.5	循環器系の疾患 317 105.7	循環器系の疾患 307 111.6	循環器系の疾患 279 101.6
第4位	筋骨格系・結合組織 の疾患 968 190.4	新生物 1,034 205.8	精神・行動の障害 914 183.2	損傷・中毒・その他 外因の影響 874 173.9	筋骨格系・結合組織 の疾患 539 110.9	損傷・中毒・その他 外因の影響 289 96.4	損傷・中毒・その他 外因の影響 238 86.6	筋骨格系・結合組織 の疾患 225 82.0
第5位	新生物 922 181.4	精神・行動の障害 904 179.9	筋骨格系・結合組織 の疾患 744 149.1	筋骨格系・結合組織 の疾患 673 133.9	消化器系の疾患 485 99.7	筋骨格系・結合組織 の疾患 257 85.7	筋骨格系・結合組織 の疾患 226 82.2	損傷・中毒・その他 外因の影響 222 80.9

(注) 1 各欄の上段の数は長期病休者数を、下段の数は長期病休者率を示す。

2 平成13年度以降の「精神及び行動の障害」には、「神経系の疾患」のうち「自律神経系の障害」に分類された者の数を含めて計上している。

図 長期病休者数及び長期病休者率の推移



※平成13年度から平成18年度にかけての職員数の大幅な減少は、独立行政法人化、国立大学法人化等によるもの

表3 長期病休者の年齢階層別・傷病別順位（第1位～第10位）【平成28年度】

	総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
総数	5,326 100.0%	精神・行動の障害 3,487 65.5%	新生物 515 9.7%	循環器系の疾患 279 5.2%	筋骨格系・結合組織の疾患 225 4.2%	損傷・中毒・その他外因の影響 222 4.2%	妊娠・分娩・産じょく 118 2.2%	消化器系の疾患 115 2.2%	神経系の疾患 105 2.0%	内分泌・栄養・代謝疾患 53 1.0%	腎尿路生殖器系の疾患 47 0.9%
19歳以下	5 100.0%	精神・行動の障害 3 60.0%	損傷・中毒・その他外因の影響 1 20.0%		-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	623 100.0%	精神・行動の障害 509 81.7%	妊娠・分娩・産じょく 23 3.7%	損傷・中毒・その他外因の影響 22 3.5%	消化器系の疾患 12 1.9%	新生物 11 1.8%	筋骨格系・結合組織の疾患 9 1.4%	内分泌・栄養・代謝疾患 腎尿路生殖器系の疾患 その他 6 1.0%			眼・付属器の疾患 5 0.8%
30～39歳	990 100.0%	精神・行動の障害 752 76.0%	妊娠・分娩・産じょく 74 7.5%	新生物 35 3.5%	筋骨格系・結合組織の疾患 30 3.0%	損傷・中毒・その他外因の影響 23 2.3%	神経系の疾患 17 1.7%	消化器系の疾患 12 1.2%	循環器系の疾患 11 1.1%	内分泌・栄養・代謝疾患 腎尿路生殖器系の疾患 その他 6 0.6%	感染症及び 寄生虫症
40～49歳	1,737 100.0%	精神・行動の障害 1,216 70.0%	新生物 137 7.9%	循環器系の疾患 75 4.3%	筋骨格系・結合組織の疾患 69 4.0%	損傷・中毒・その他外因の影響 66 3.8%	神経系の疾患 35 2.0%	消化器系の疾患 34 2.0%	妊娠・分娩・産じょく 20 1.2%	内分泌・栄養・代謝疾患 呼吸器系の疾患 19 1.1%	
50～59歳	1,729 100.0%	精神・行動の障害 942 54.5%	新生物 270 15.6%	循環器系の疾患 157 9.1%	損傷・中毒・その他外因の影響 90 5.2%	筋骨格系・結合組織の疾患 89 5.1%	消化器系の疾患 47 2.7%	神経系の疾患 43 2.5%	内分泌・栄養・代謝疾患 20 1.2%	呼吸器系の疾患 14 0.8%	腎尿路生殖器系の疾患 12 0.7%
60歳以上	242 100.0%	精神・行動の障害 65 26.9%	新生物 62 25.6%	循環器系の疾患 32 13.2%	筋骨格系・結合組織の疾患 28 11.6%	損傷・中毒・その他外因の影響 20 8.3%	消化器系の疾患 9 3.7%	神経系の疾患 7 2.9%	腎尿路生殖器系の疾患 5 2.1%	その他 4 1.7%	内分泌・栄養・代謝疾患 皮膚及び皮下組織の疾患 血液・造血器の疾患・免疫機能の障害 2 0.8%

注：下段の数字は総数又は年齢階層別総数に占める割合を示す。

表4 年齢階層別・傷病別長期病休者数及び長期病休者率【平成28年度】

	総数	精神・行動の障害	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系・結合組織の疾患	損傷・中毒・その他外因の影響	妊娠・分娩・産じょく	消化器系の疾患	神経系の疾患	内分泌・栄養・代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	その他	眼・付属器の疾患	感染症・寄生虫症	皮膚・皮下組織の疾患	耳・乳突起の疾患	血液・造血器の疾患、免疫機能の障害
総数	5,326 1940.1	3,487 1270.2	515 187.6	279 101.6	225 82.0	222 80.9	118 43.0	115 41.9	105 38.2	53 19.3	47 17.1	40 14.6	35 12.7	24 8.7	23 8.4	19 6.9	10 3.6	9 3.3
19歳以下	5 498.5	3 299.1	-	-	-	1 99.7	-	1 99.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	623 1624.8	509 1327.5	11 28.7	4 10.4	9 23.5	22 57.4	23 60.0	12 31.3	3 7.8	6 15.6	6 15.6	1 2.6	6 15.6	5 13.0	3 7.8	-	2 5.2	1 2.6
30～39歳	990 1718.4	752 1305.3	35 60.8	11 19.1	30 52.1	23 39.9	74 128.4	12 20.8	17 29.5	6 10.4	6 10.4	5 8.7	6 10.4	3 5.2	6 10.4	2 3.5	1 1.7	1 1.7
40～49歳	1,737 1986.3	1,216 1390.5	137 156.7	75 85.8	69 78.9	66 75.5	20 22.9	34 38.9	35 40.0	19 21.7	18 20.6	19 21.7	9 10.3	5 5.7	7 8.0	4 4.6	3 3.4	1 1.1
50～59歳	1,729 2224.4	942 1211.9	270 347.4	157 202.0	89 114.5	90 115.8	1 1.3	47 60.5	43 55.3	20 25.7	12 15.4	14 18.0	10 12.9	10 12.9	6 7.7	11 14.2	3 3.9	4 5.1
60歳以上	242 1954.0	65 524.8	62 500.6	32 258.4	28 226.1	20 161.5	-	9 72.7	7 56.5	2 16.1	5 40.4	1 8.1	4 32.3	1 8.1	1 8.1	2 16.1	1 8.1	2 16.1

注：下段の数字は年齢階層別職員数に対する長期病休者率を示す。

表5 病休期間別・傷病別長期病休者数及び割合【平成28年度】

	総数	精神・行動の障害	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系・結合組織の疾患	損傷・中毒・その他外因の影響	妊娠・分娩・産じょく	消化器系の疾患	神経系の疾患	内分泌・栄養・代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	その他	眼・付属器の疾患	感染症・寄生虫症	皮膚・皮下組織の疾患	耳・乳様突起の疾患	血液・造血器の疾患、免疫機能の障害
総数	5,326 100.0%	3,487 100.0%	515 100.0%	279 100.0%	225 100.0%	222 100.0%	118 100.0%	115 100.0%	105 100.0%	53 100.0%	47 100.0%	40 100.0%	35 100.0%	24 100.0%	23 100.0%	19 100.0%	10 100.0%	9 100.0%
1月以上 3月未満	2,475 46.5%	1,333 38.2%	254 49.3%	155 55.6%	170 75.6%	163 73.4%	99 83.9%	89 77.4%	45 42.9%	31 58.5%	31 66.0%	27 67.5%	20 57.1%	16 66.7%	15 65.2%	15 78.9%	5 50.0%	7 77.8%
3月以上 6月未満	968 18.2%	670 19.2%	102 19.8%	43 15.4%	23 10.2%	37 16.7%	12 10.2%	17 14.8%	20 19.0%	6 11.3%	11 23.4%	7 17.5%	2 5.7%	6 25.0%	5 21.7%	3 15.8%	3 30.0%	1 11.1%
6月以上 1年未満	918 17.2%	710 20.4%	89 17.3%	33 11.8%	15 6.7%	10 4.5%	5 4.2%	6 5.2%	21 20.0%	9 17.0%	5 10.6%	4 10.0%	6 17.1%	-	2 8.7%	1 5.3%	1 10.0%	1 11.1%
1年以上 2年未満	669 12.6%	529 15.2%	53 10.3%	34 12.2%	14 6.2%	11 5.0%	2 1.7%	2 1.7%	9 8.6%	6 11.3%	-	2 5.0%	3 8.6%	2 8.3%	1 4.3%	-	1 10.0%	-
2年以上 3年未満	216 4.1%	176 5.0%	13 2.5%	11 3.9%	3 1.3%	-	-	1 0.9%	8 7.6%	1 1.9%	-	-	3 8.6%	-	-	-	-	-
3年以上	80 1.5%	69 2.0%	4 0.8%	3 1.1%	-	1 0.5%	-	-	2 1.9%	-	-	-	1 2.9%	-	-	-	-	-

注：下段の数字は傷病別長期病休者数に対する割合を示す。